

# 新 たなまちの姿を求めて

住みたいまちを目指し、新しい活動がはじまった

まちに住む人たちも、まち並みも、災害公営住宅の完成、高台移転、住宅再建のための移転などにより大きく変化しました。これからのようなまちを創っていくのか？新しい活動がはじまりました。

## 年表

平成	24年3月	25年3月	26年3月	27年11月	28年3月	29年3月	30年3月
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第一期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第二期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第二期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第二期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第二期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第二期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第二期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第二期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成
	東日本大震災大船渡市追悼式開催	J R大船渡線（盛々気仙沼間）で、BRTによる仮復旧	三陸沿岸道路高田道路（陸前高田IC～通岡IC間）開通	三陸鉄道南リアス線全線（盛々釜石間）運転再開	大船渡駅周辺地区第二期まちづくり開催	大船渡港湾口防波堤復旧	大船渡市防災観光交流センター完成



NPO法人こそだてシップ  
スタッフのみなさん

人生を豊かにする「楽しい育児」をサポートしたい

※副理事の大村恵世さん  
(写真 前列真ん中) から伺いました。

助産師による妊娠時から産後、育児を繋げていく育児サポート

こそだてシップは、子育ての支援活動をするため、平成21年に地元の助産師によってスタートしました。震災後、避難所での妊婦や母子に対する支援が必要と感じ、本格的

に稼働、平成25年にNPO法人になりました。妊娠時から産後、育児までを一貫してつなぐサポートを心がけています。妊娠中の妊婦さん、お母さんの不安や困りごとの相談に応じるほか、産後のケア、子どもの遊び、親同士の交流や学びの場の提供などを行っています。

子育てをする人に寄り添い、見守り、支えたい

子育てのかたちは十人十色です。しかし、育児に関わる様々な情報を得て、そのとおりにいかない、不安を募らせる親御さんが多いように感じています。母親も父親も、子どもと向き合い、多くの人と交流し、様々な体験をして親になっていくものです。だから、多くの人と交流し、多様な体験をしていただきたいと思います。また、共働き世帯が増えるなか、パートナーや家族の育児への関わり方も大切です。私たちは、子育てをする人

未来を見ずえた取り組みが、各地で動き出した

被災したエリアでは、地区ごとに復興に向け、今後のまちづくりのあり方を話し合う組織が立ち上がり、外部の専門家の助言もいただきながら、市と協働でまちづくり計画の策定に取り組みしました。この過程において、自分の住むまちをどのようにしたいのかを本音で話し合うことで、



三陸町越喜来浦浜・泊地区まちづくり委員会

世代を越えて住民の相互理解が深まり、一体感の醸成につながっていききました。また、こうした地区ごとの動きと並行して、震災以前からの課題である少子高齢化の進行への対応や、市内で最も大きな被害を受けた、JR大船渡駅周辺地区を核とした中心市街地の再生など、多くの支援者のご支援、ご協力により、復興への足音を確かにする多様な取り組みが徐々に見られるようになりました。

に寄り添い、見守り、支えたいという思いで、活動をしています。楽しい育児は、人生を豊かにし、「また子どもが欲しい」、「また育てたい」という気持ちを育むものだと思っています。



こそだてシップHP



盛町サンリアショッピングセンター内2階にある「すくすくルーム」では、随時、様々な講座やイベントを実施